

ICT を活用した 自立活動の指導

タイトル 自己理解を深め、自分の思いを表出するための自立活動の指導

学習形態 個別指導

対象障害 視覚障害 聴覚障害 肢体不自由 知的障害 病弱・身体虚弱
言語障害 自閉症 情緒障害 学習障害 注意欠陥多動性障害
その他

生徒の実態

- ・系列的思考を獲得している生徒（7歳頃～の発達力）
- ・文脈形成に支援が必要で、自分の思いや考えを人に伝えることが苦手
- ・自閉症、起立性調節障害、適応障害、愛着不全、不登校等の中学部・高等部生徒

自立活動の課題

- ・生活習慣を振り返ったり、生活管理への意識を高めたりできる。
- ・嫌だったことや上手くいかなかったこと、不安な事などを言語化する。
- ・感情やその度合いを掴み、教師と一緒に対処の仕方(回避や発散)を考える。
- ・その日の振り返りだけでなく、蓄積したデータを元に、月や学期など一定スパンでの分析や振り返りも行うことで、変化に気付いたり次の目標を見つけたりしやすい。

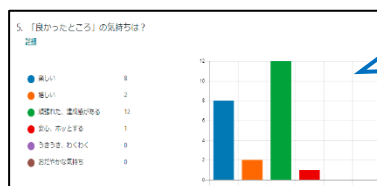
活用した ICT 機器 タブレット
アプリケーション
教材・コンテンツ等

自立活動の指導 ①登校時に「健康観察」、下校前に「一日の振り返り」を Teams のアンケートフォームに記録する。



【健康観察】

①日付 ②心の調子 ③身体の調子 ④就寝時間⑤起床時間⑥食事⑦服薬⑧今日のお楽しみ



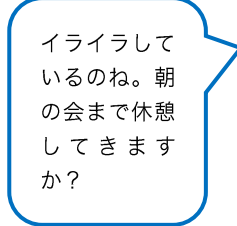
【一日の振り返り】

①日付 ②心の調子 ③身体の調子 ④良かったこと⑤良かったこと⑥良かったこと⑦良かったこと⑧良かったこと⑨良かったこと⑩良かったこと⑪良かったこと⑫良かったこと⑬良かったこと⑭良かったこと⑮良かったこと⑯良かったこと⑰良かったこと⑱良かったこと⑲良かったこと⑳良かったこと㉑良かったこと㉒良かったこと㉓良かったこと㉔良かったこと㉕良かったこと㉖良かったこと㉗良かったこと㉘良かったこと㉙良かったこと㉚良かったこと㉛良かったこと㉜良かったこと㉝良かったこと㉞良かったこと㉟良かったこと㊱良かったこと㊲良かったこと㊳良かったこと㊴良かったこと㊵良かったこと㊶良かったこと㊷良かったこと㊸良かったこと㊹良かったこと㊺良かったこと

②スケジュールで、心身の調子に合わせた 活動量や参加を確認する。



朝、お母さんとケンカした。「○○」と言われて嫌だった。



イライラしているのね。朝の会まで休憩してきますか？

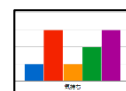
③月や学期ごとに、アンケートフォームの結果を振り返って話す。



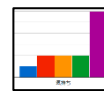
最近、薬を忘れず飲んでいきます！



登校時と比べて下校前は気持ちがスッキリしていますね



登校時



下校前

生徒の様子・変容
ICT の効果

- ・“夜更かしした”“薬を飲み忘れた”など、できていなかったことも素直に伝えられた。
- ・心身の調子に合わせ、活動の参加の仕方を考えたり必要な援助を求めたりできた。
- ・データを視覚的に振り返ることで、傾向や変化などに気づいて自己評価できた。
- ・違う場面でも、身近で起こった出来事や気持ちなどを筋道立てて話すことが増えた。
- ・服薬管理や睡眠など、生活習慣の見直しにつながった。

ICT 活用のポイント

- ・アンケートフォームは選択式にすることで入力しやすくする。
- ・生徒が入力するだけで終わらず、教師が発問や共感しながら一緒に取り組み、生徒の言語表出を促す。
- ・生徒の言葉を拾いながら、文表現にまとめて復唱したり、視覚的に記したりする。